

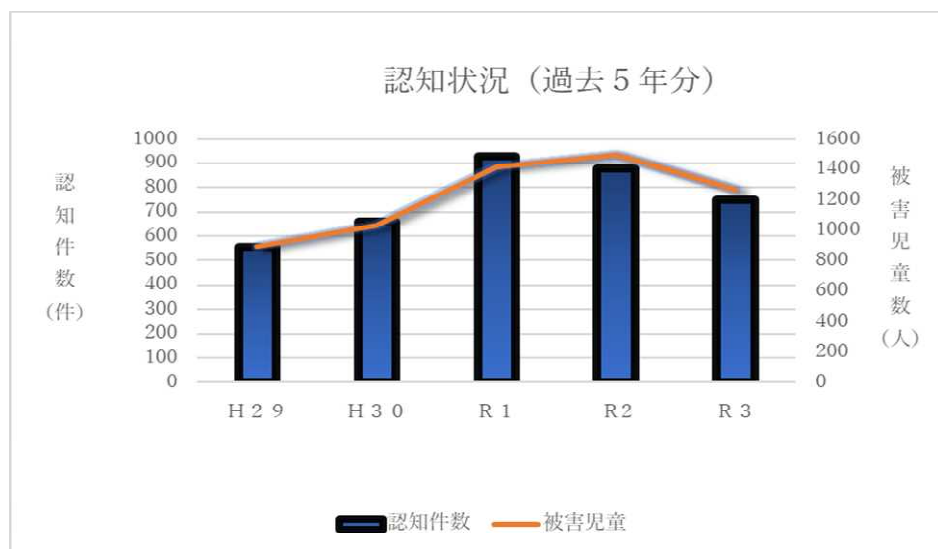
第11 児童虐待事案の特徴的傾向

1 児童虐待事案認知・対応状況

(1) 認知状況

過去5年における長野県の児童虐待認知件数等は、図表56のとおり、令和3年中の認知件数は750件で、前年に比べて128件減少(-14.6%)し、被害児童数は1,264人で、前年に比べて234人減少(-15.6%)しているが、依然として高水準で推移している。

(図表56) 認知状況(過去5年)



区分	年				
	H29	H30	R1	R2	R3
認知件数	555	662	930	878	750
被害児童数	892	1,037	1,415	1,498	1,264

※R3は暫定値

(2) 対応状況

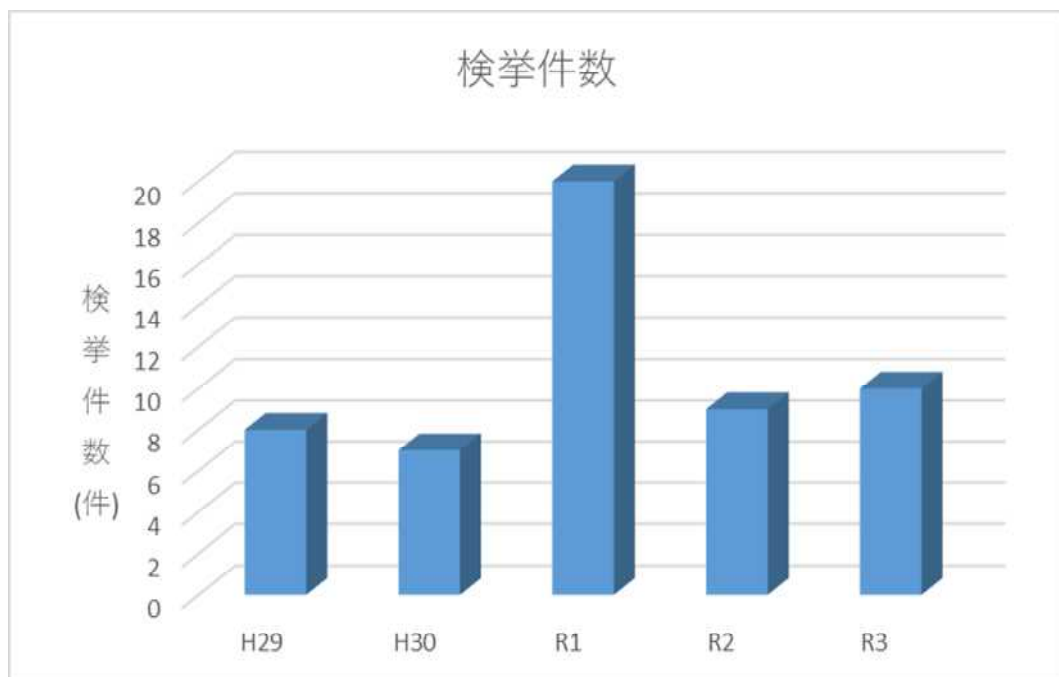
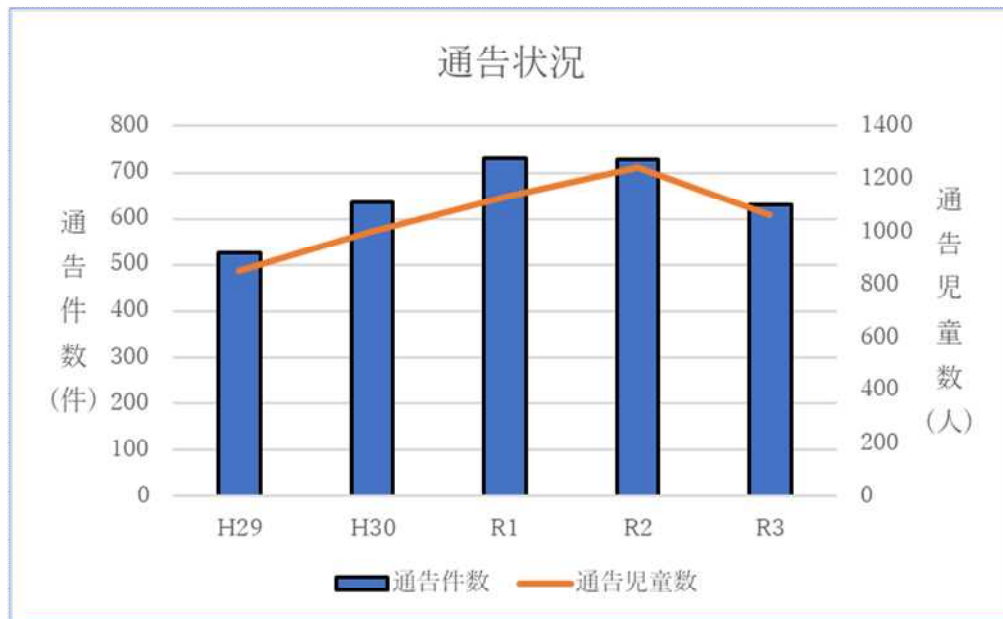
過去5年における児童通告状況は、図表57のとおり、令和3年における児童通告件数は631件(前年比-96件)と減少し、通告児童は1,067人(前年比-179人)と減少しているが、依然として高水準で推移している。

事件検挙は10件(前年比+1件)で、罪種は監護者性交等1件、監護者わいせつ1件、傷害5件、暴行3件であった。

(図表 57) 対応状況 (過去 5 年)

区分		年				
		H 2 9	H 3 0	R 1	R 2	R 3
児童通告	件数	526	637	731	727	631
	人員	850	1,003	1,133	1,246	1,067
検挙件数		8	7	20	9	10

※ R 3 は暫定値



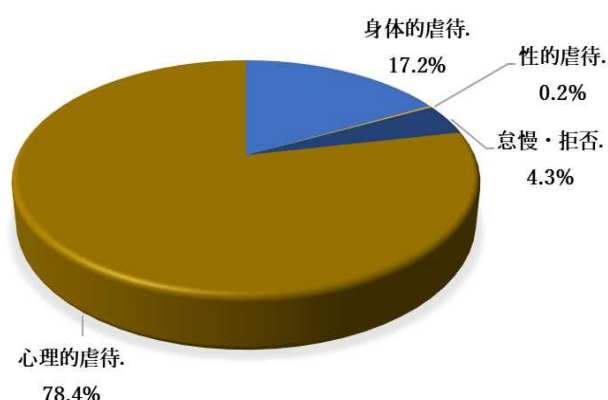
2 児童虐待事案の傾向

(1) 態様別

虐待の態様は、図表 58 のとおり、通告児童数 1,067 人の虐待種別人数は、身体的虐待 183 人（-71 人）、性的虐待 2 人（+1 人）、怠慢・拒否 46 人（-19 人）、心理的虐待 836 人（-90 人）で、身体的虐待と心理的虐待で全体の 9 割以上を占める。

（図表 58） 態様別通告児童数状況（令和 3 年）

	通告児童数	虐待種別			
		身体的虐待	性的虐待	怠慢・拒否	心理的虐待
令和3年	1067	183	2	46	836
令和2年	1246	254	1	65	926
前年比	-179	-71	1	-19	-90



※令和 3 年は暫定値

(2) 加害者別

加害者は、図表 59 のとおり、実父 795 人（全体の 54.8%）、実母 502 人（全体の 34.6%）で、実父母による虐待が全体の約 9 割を占める。

（図表 59） 加害者別の状況（令和 3 年）

加害者別	人員（人）	占有率（%）
実父	795	54.8
実母	502	34.6
養父	86	5.9
養母	6	0.4
内縁（男）	18	1.2
内縁（女）	0	0.0
その他	43	3.0
計	1,450	-

※暫定値